

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 岡山県
本事業の担当部局名 子ども・福祉部子ども未来課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業							
区分	重点メニュー							
関連事業メニュー	1.2.2 若い世代の描くライフデザイン支援							
個別事業名	子育て家庭やこどもとの触れ合い体験事業					新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間	令和8年4月1日		～	令和9年3月31日		事業開始年度	令和6年度	
総事業費(A)(円)	7,550,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	7,550,000	
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	7,550,000							
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	0	0	0	0	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金		計	
	総事業費	7,550,000	0	0	0		7,550,000	
	対象経費支出予定額	7,550,000	0	0	0		7,550,000	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0		0	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 本県では、希望する誰もが安心して子どもを生き育てることができるよう、少子化対策・子育て支援施策の総合的な計画である「岡山いきいき子ども・若者プラン2025」に基づき、出会いから結婚、妊娠・出産、子育てまでライフステージに沿った施策を切れ目なく展開しているところである。 出生数が14年連続で減少しているなど、より一層厳しさが増している現状に鑑み、新たな視点による施策やこれまでの取組の強化など、より効果的な対策を講じ、成果につなげていく必要がある。</p> <p><本個別事業の位置付け> 令和5年度に実施した県民意識調査においても、「結婚や子育てと仕事との両立に対する不安」や「出産・子育てに対する肉体的・精神的な負担」など、結婚や子育てに対する「不安」が多く挙げられており、「若い世代が結婚や子育ての将来展望を描けない」ことが少子化の要因の一つと考えられている。 そのため、若い世代の不安を解消し、結婚や出産、子育てといった将来の様々なライフイベントに柔軟に対応できるよう、子育て中の家庭や赤ちゃんとの触れ合い体験事業等を実施する。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容					
	1	赤ちゃんふれあい体験学習サポート事業	学校等教育機関及び市町村と連携し、中・高校生が乳幼児と十分に関わりが持つ機会を創出し、男女ともに子どもを生き育てていくことの重みや喜びについて理解を深める。 ※10地区で開催 ・赤ちゃんとその保護者との交流 ・赤ちゃんの抱き方やあやし方、関わり方の指導 ・中、高校生と愛育委員の話し合い等					
	2	子育て家庭留学プログラム事業	将来の結婚や子育て、仕事との両立に関心や不安のある大学生や若手社会人などが、子育て中の家庭を訪問し、子育て体験や先輩ママ・パパとの交流を通して、将来設計のヒントを得る体験型事業を実施。 また、子育て中の先輩ママ・パパをゲストに迎え、体験談等を聞く交流会を実施し、意見交換等を通じて、結婚や子育てに対する不安を解消する。 事業実施に当たっては、県内の子育て支援団体(NPO等)と連携し、実施する。 ・子育て家庭留学の実施(年60件程度) ・先輩ママ/パパ交流会(ライフデザインセミナー)の実施(年3回程度)					
3	普及啓発事業	地域のボランティアや中・高校生、若者等を対象に、研修会や街頭キャンペーン等により情報提供・広報を実施し、地域全体で、命の大切さや子育てに関心を持つ機会について啓発を行い、子育てに温かい社会づくりや機運の醸成を図る。 また、子育て家庭留学の様子を紹介する動画や体験記事を作成し、HPやSNS等で広く発信し、事業の周知を図るとともに、疑似体験による取組効果の波及を図る。						

<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>

【赤ちゃん触れ合い体験学習サポート事業】

・参加者数や実施数に限りがあることから、誰もが体験できる環境づくりを行い、子育てへの理解の促進と、ライフプラン形成の支援につなげていく。

【子育て家庭留学プログラム】

・事業実施による効果は実感しているものの、認知度の低さや参加者数に限りがあることが課題である、そのため、ターゲットを絞った情報発信により一層の周知を図るとともに、体験動画や体験記事を通じた疑似体験、さらには県内の子育て支援団体(NPO等)と連携を強化し、取組効果の波及拡大を図る。

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	婚姻率		%	3.94(R11)	3.8(R6)
	平均初婚年齢(夫)		歳	30.1歳より低下(R11)	30.2(R6)
	平均初婚年齢(妻)		歳	29.0歳より低下(R11)	29.1(R6)
	おかやま出会い・結婚サポートセンターが関わった成婚数		組	1,100(R11)	628(R6)
	出生数		人	12,260(R11)	10,926(R6)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.27(R6)	
	婚姻件数		件	6,753(R6)	
	婚姻率			3.8(R6)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	ふれあい体験実施回数	回	60(R8)	64(R6)
	②	子育て家庭留学実施回数	回	60(R8)	27(R6)
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	95(R8)	93.9(R6)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	――	――
	③	結婚・妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	――	――
	④	結婚や子育てについての不安が解消したと感じた人の割合	%	80(R8)	72.7(R6)
⑤	仕事と子育てに両立についての不安が解消したと感じた人の割合	%	80(R8)	72.8(R6)	
⑥	自らのライフプランについて考えたいと感じた人の割合	%	100(R8)	100(R6)	
⑦					
⑧					